

隊員通信

下岡 稜児 (中心市街地活性化支援)

2020年は新型コロナウイルスにより、皆さんで盛り上がる楽しいイベントや企画が思い描く形ではできませんでした。2021年も引き続き厳しい状況になるかもしれません。しかし、新しい生活様式の下で今だからこそ、できることがあります。ハロウィンをはじめ高校生と一緒に企画する催しも皆さん楽しんでいただきながら、今のつらい状況を吹き飛ばせるよう内容を検討していきたいと思えます。

個人的に映像を制作しているので、今後は催しと映像とを組み合わせオンラインでも楽しんでいただけるよう、時代



湯の丸スキー場紹介を撮影しているときのようす

に合わせた取り組みを進めていければと考えています。

堀田 光彦 (文化振興支援)



2021年が始まり寒さも本格的になってきました。気付けば私の任期も残すところあと半分(2022年8月末まで)になりました。どうか今年中に鑄造ができるアトリエを作り、ブロンズの作品を制作したいと考えています。工場跡地や使わなくなった倉庫など使用できないかと検討中です。私の定住の絶対条件はアトリエがあることなので頑張っ

て探していきたいです。

さて昨年はサンドアートを多くの方に観ていただくことができました。私自身大変嬉しかったです。これからも積極的に作品を制作し、市民の皆様喜んでいただきたいと思っています。

ウォク・ジェイク (観光地域づくり支援)

現在は観光情報ステーションに勤務しており、コロナ感染拡大予防対策に努めています。今年の夏に山域のツアーを行うためにも、早期に新型コロナウイルスが終息することを願わずにはいられません。

昨年からは登山ガイドの知識と資格を勉強しています。日本中のエコツーリズムも調べています。

東御と長野県東信地域は関東からアクセスが便利で、将来的にも人気ができる観光スポットとして広めていきたいです。スポーツツーリズム(団体練習会、大会など)とエコツーリズムを上手くつなげ、宣伝していきたいです。



観光情報ステーションの窓口にて

地域おこし協力隊ミーティング実施中!!

現在、地域おこし協力隊は14名です。活動拠点が観光情報ステーション・ワイン&ビアミュージアム・とや原ファーム・福祉センター・市役所などと違うため、毎月中央公民館に集まってミーティングを行っています。お互いの活動や生活など近況報告をし合い、任期3年後の目標に向けて奮闘中です。

また例年、長野県主催で地域おこし協力隊が活動に必要な知識を学び、地域の定着へつなげるスキルアップ研修が行われています。昨年は「長野県地域おこし協力隊による中間報告会」がオンラインで開催され、参加してきました。

長野県地域おこし協力隊が県内350名の地域おこし協力隊の取り巻く現状や課題を取材・調査した内容を他の市町村の協力隊と意見交換をし、視野が広がった気がしました。



編集担当・地域おこし協力隊 杉田